

インドネシア・マングローブ林の再生と 持続可能な養殖の導入による沿岸保全

活動地域  インドネシア



コミュニティによる沿岸保全計画の策定

課題

プロンガン県のマングローブ面積は大きく減少し、海岸は急速に浸食が進んでいる。沿岸保全を地域全体で取り組む体制の構築と能力向上が急がれる。

目標

マングローブ林が再生し、生物多様性が豊かな沿岸生態系の回復、気候変動影響への適応、自然と共生する持続可能な地域経済が実現し、温室効果ガスの排出削減に貢献する。



今後の
展望

気候変動影響の緩和と、持続可能なブルーエコノミーの促進、沿岸住民の生活の向上のため、養殖業者やコミュニティの十分な理解と合意を得た上で、沿岸保全活動の実施と持続可能な養殖業の導入を進める。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 沿岸部五つの村から養殖業者とコミュニティの代表者30人が、マングローブの再生と沿岸保全のための研修に参加した
- 五つの村で、マングローブ合計60,000本を植林した
- 専門家による土壌、水質測定、検査、観察を行った
- マングローブダイアログを開催し、キックオフ会合に五つの村から48人が参加し、マングローブ再生、養殖業、沿岸保全戦略について議論した
- 沿岸保全と養殖業の詳細な戦略と実施のための調整、意思決定のために、作業部会を設置した



コミュニティのマングローブの
苗木づくり

研修参加人数 **30人**

マングローブ植林数 **60,000本**

今年度計画の達成度 **68%**

全体計画の達成度 **25%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

海岸浸食、高波の被害がますます急速に進んでおり、沿岸保全、植林活動が難しくなっている。

■工夫した点

地域内に自生し、浸食浸水に耐えることができるマングローブの種類を選定した。

JL. TIRTO AGUNG BARAT V
NO 21, BANYUMANIK
SEMARANG INDONESIA
電話：+62 24 76401101
E-mail：bintari.foundation@gmail.com
HP：http://www.bintari.org

